

第1回第六次大野市総合計画後期基本計画策定幹事会 令和6年度第1回大野市総合計画・総合戦略推進会議 議事概要

日時：7月4日（木）午後7時～8時45分

場所：結とびあ305, 306

- ◆出席者 総合計画・総合戦略推進会議委員 19名（欠席者2名）
後期基本計画策定幹事会委員 48名（欠席者5名） ※別紙名簿参照
石山市長（挨拶まで）
吉田行政経営部長、小林政策推進課長、
政策推進課員（前田、千京、廣瀬、雨山）

◆次 第

1 開会

2 市長挨拶

- 令和元年度から2年度における総合計画の策定に当たっては、人口減少を直視しながら、SDGsを物差しとして検討を進め、ニューノーマルへの適応も取り入れた。そして、「みんなができること」が新たに設けられた。前期基本計画が後半に入り、市民と行政の協働により各種施策を推進している。
- 後期基本計画の策定に当たり、稼ぐ力の向上や雇用の確保、子育てへの応援等の「人口維持増加策」と、地域づくりや様々な担い手不足への対応、デジタル化の推進など「人口減少適応策」の両面から進めていくことが必要。
- 加えて、ウェルビーイングやシェアリングエコノミーといった視点を組み入れ、人口減少する中で幸せに暮らせるまちづくり、女性がイキイキと暮らすことができる社会づくりなどに取り組みたい。
- 計画の策定に当たっては、市民と市職員の手作りにより作っていただきたい。積極的なご意見をお願いしたい。

1 委員紹介、会長の選任

会長 岡崎 英一 氏 (副会長 松田 典子 氏 継続)

2 推進会議の趣旨説明及びスケジュールについて

概要： 資料1～3に基づき事務局説明

質疑： 意見無し

3 議事

(1) 令和5年度施策の外部評価方法について

概要： 資料4～6に基づき事務局説明

質疑： 意見無し

結果： 評価方法について承認

(2) 6分野ごとの説明・質疑

概要： 資料7, 8に基づき事務局説明

分野ごとの進め方は、①自己紹介、②事務局より内部評価結果の概要説明、
③推進会議委員を主に質疑、④推進会議委員は解散の流れ

質疑： 各分野において実施

1 委員紹介

2 幹事長、副幹事長の選任

幹事長 岡崎 英一 氏
副幹事長 竹田 周平 氏

3 幹事会の趣旨説明

概要： 資料9, 10に基づき事務局説明
質疑： 意見無し

4 議事

(1) 市民意識調査について

概要： 資料11～13に基づき事務局説明
特にウェルビーイングに関する市民・中高生向けの設問について照会

質疑：

委員 中高生向けのウェルビーイングの指標について、簡易版20項目に減らす必要は無く一般同様の50項目に準拠すれば良い。子どもたちは優秀。

事務局 庁内WG員の意見でも中高生は真面目なので50項目準拠で答えられるのではないかと、という意見はあった。意見を参考に考えて決めていきたい。

委員 ①無作為抽出の市民1000人という数字は妥当か。②回収率を上げるために、このアンケートがいかに重要であることを知らしめる文章が必要ではないか。

事務局 ①1000人についてはある程度の回収（回収率3割程度）があれば統計上は問題ないものと認識。②一人でも多くの市民に回答いただきたいので、その思いが市民に伝わるよう訴え方について検討したい。

委員 今ほどの質問に関連して、①このアンケートが何を目的に使われ、回答によりどのように良い方向に進むのかがわかると、回答される方が増えるのではないかと思う。②中高生について学校を通じて依頼した先はどのように回答されるのか。

事務局 ①について、意見を参考にWG員の意見もいただきながら検討したい。

事務局 ②について、WEBによる回答フォームから回答いただく予定。

委員 学校の授業などで回答いただけると回答率が高まるのではないかと。

事務局 前回中高生で94.5%回答いただいております高いものと認識。WEBフォームによる不安はあるが100%を目指したい。学校に依頼する際は、ホームルームにおいて回答の時間を確保いただくなどお願いしたいと思う。

委員 アンケートの結果を市民に届けられるようにできないか。

- 事務局 前期基本計画では結果の一部を計画本文に記載している。このほか市ホームページやSNS等を通じて結果についてお知らせしたいと考えている。
- 委員 ①今回のアンケートから、デジタル庁の50項目が追加されたが、なぜこのような設問を追加したのか考え方を教えてほしい。②ウェルビーイングやシェリングエコノミーなどは、初めて聞いた言葉で私の勉強不足を感じた。大概の市民にとっても馴染みが無いように思うので、このような新しいカタカナ言葉で市民を煙に巻くようなことは辞めていただきたい。
- 事務局 ①ウェルビーイングの設問を設ける理由は、人口減少していく中、市民の暮らしが幸せであるかどうか非常に重要であると考えため。1回の調査ではあまり意味がなく、5年後、10年後など継続的な把握が必要と考える。国（デジタル庁）が50項目の標準的な設問を設定しており、これを利用することで他市との比較も可能になる。また、先ほどのご意見のように、中高生も50項目に準拠した調査を行えば、市民のうち世代間による認識や幸福度の違いが明らかになるかもしれない。
- 事務局 ②アンケート調査を行うに当たり、ウェルビーイングとは何かについてきちんと説明し、ご理解いただいた上で回答いただきたいと考える。そのため、アンケート送付時には注意書きや説明を加えたい。また、計画策定時に各地区で行うワークショップなどでも、現代の心の豊かさを重視する考え方や、ものを共有して豊かに暮らしていこうというシェアリングエコノミーの考え方についてもきちんと説明していきたい。
- 幹事長 様々な意見をいただいた。最終的に事務局の方で検討し、市民意識調査を行うことで承認いただけるか。
- 結果： 市民意識調査の進め方について承認

(2) 分野別ワークショップ（専門部会）の実施について

- 概要： 資料14に基づき事務局説明
公募委員4名に関しては専門部会の変更の可能性あり
日程調整シートの提出を依頼
- 質疑： 意見無し
- 結果： 分野別ワークショップ（専門部会）の実施について承認

閉会

◆会議資料

大野市総合計画・総合戦略推進会議委員名簿

第六次大野市総合計画後期基本計画策定幹事会委員名簿

第六次大野市総合計画後期基本計画・第3期大野市総合戦略策定WG委員名簿

資料1：大野市総合計画・総合戦略推進会議設置要綱

資料2：第六次大野市総合計画後期基本計画等の策定体制

資料3：第六次大野市総合計画後期基本計画等策定スケジュール

資料4：大野市総合計画に基づく施策の評価について

資料5：外部評価作業要領／【様式】外部評価シート

資料6：内部評価の基準等

資料7：内部評価結果一覧

資料8：第六次大野市総合計画評価報告書（令和5年度施策）内部評価案

資料9：第六次大野市総合計画について

資料10：第六次大野市総合計画後期基本計画策定幹事会設置要綱

資料11：大野市の人口推計等について

資料12：市民意識調査の概要

資料13-1：市民意識調査票案（市民向け）

資料13-2：市民意識調査票案（中高生向け）

資料14：第六次大野市総合計画後期基本計画策定幹事会 専門部会案
／第1回分野別ワークショップ（専門部会）日程調整シート